



初優勝の余韻にひたる「瀬戸水軍・昇」チーム（愛媛県立今治工業高等学校）

おもしろいぞ！ ロボフト

第3回 高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会

優勝 文部科学大臣賞	瀬戸水軍・昇 愛媛県立今治工業高等学校	
準優勝	MITOYO	香川県立三豊工業高等学校
第3位	チーム四中工	三重県立四日市中央工業高等学校
第4位	チーム樟陽	千葉県立茂原樟陽高等学校
経済産業大臣賞	KFC足利	栃木県立足利工業高等学校

ロボットアメリカンフットボールは、20cm 四方で3kg 以内のラジコン型ロボットによる球技である。球技というだけでもロボコンとしては珍しいが、5台で1チーム（1台は交代要員）が編成され、それが1つの楕円ボールの奪い合いを繰り広げるといふ、本格的なチーム戦が、従来のロボコンにないゲームとしてのおもしろさを見せる。1試合はわずか3分間（決勝戦だけはハーフタイムを挟んで6分間）だが、それを感じさせないゲーム展開は、ロボットを操る選手はもちろんのこと、観客をも大いに楽しませてくれる。

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁

得点方法は、ボールをゴールへ
運び込んでのタッチダウンか、
ゴールへ入った
ボールへの後追いタッチダウンのみ

ロボットアメリカンフットボール（以下「ロボフト」と略す）で用いられるコートは長さ700cm×幅300cmの広さで、両端に対戦するチームのゴールエリアがある。そこにボールを持ち込むことで加点し

ていく、というのがロボフトの基本ルールだ。

ただし、これが容易ではない。ボールは完全に把持してはならず、ボールを持ち上げたときに、ロボットも一緒に持ち上がっ

ボールを抱えたロボットが、相手チームのロボットを振り切って、そのままゴールへタッチダウン！



転がってゴールへと入ったボールを追いかけて、そのままゴール内のボールへ触れてタッチダウン！

